

わん+NAVI

レスキュー&セラピードッグたちの最新情報



石川県救助犬協会連合会 会報
平成17年5月1日 第2号発行

ご挨拶

世界の国々や日本国内でも、最近では風水害、津波、地震等の被害が頻繁に報道され、各地で多くの方々が被害に遭っておられます。当協会も設立から4年目を迎え、益々その活動に期待や注目を浴びるようになって参りました。

各種団体や自治体主催の競技会、認定試験等にも果敢にチャレンジし大きな成果を上げることができました。セラピードッグの育成、派遣活動もメンバー各位の熱意の賜として軌道に乗ってきましたし、各施設からその成果についての驚きと感謝のお言葉を頂戴致しております。

県内各地での訓練場の整備も着々と進められ、会員の皆様の情熱と奉仕の精神のお陰で会員数は100名の大台にもなろうとしています。

今後更に人間の為に働いてくれる犬たちと共に健康で安全で快適な社会実現に向けて、弛まぬ努力を積み重ねて参りたいと願っております。今後共一層のご指導ご協力賜りますように宜しくお願いいたします。

NPO法人 石川県救助犬協会連合会 理事長 松平 博之



活動報告

平成16年

1月

- 1月4日 月例訓練
(金沢市佐奇森町健民海浜公園運動場)

2月

- 2月4日 雪崩事故救助救出訓練
(匡王山スキー場)
2月9日 上級救急救命士講習会
(金沢市駅西消防署)
2月16日 月例訓練
(金沢市佐奇森町健民海浜公園運動場)

3月

- 3月7日 認定試験対策訓練手取川
(天狗橋下十八河原河川敷)
3月14日 月例訓練
(石川県消防学校グラウンド)
3月16日 セラピー部門 AAT訪問
(金沢南ケアハウス)
3月28日 第6回石川県災害救助犬審査会
(石川県消防学校グラウンド)

4月

- 4月18日 月例訓練ならびに平成16年度通常総会
(パーク獅子吼)
4月22日 セラピー部門 AAT訪問
(金沢南ケアハウス)

5月

- 5月18日 セラピー部門 AAT訪問
(金沢南ケアハウス)
5月20日 セラピー講座
(南四十万なかよし公園)
5月23日 月例訓練手取川
(天狗橋下十八河原河川敷)

6月

- 6月3日 セラピー講座
(南四十万なかよし公園)
6月6日 春季訓練競技会<北陸訓練士会主催>
(小松市浜佐美緑地公園内)
6月10日 セラピー部門 AAT訪問
(金沢南ケアハウス)
6月12日 親子ふれあいセラピー講座
(不動寺小学校)
6月13日 クラブ訓練競技会<京都京洛トレーナーズクラブ>
(滋賀県竜王町ドラゴンハット)
6月16日 セラピー部門 AAT訪問
(やすらぎホーム)
6月20日 月例訓練
(辰口町岩内地内)



第6回石川県災害救助犬審査会



セラピー部門 AAT訪問



動物ふれあいフェア



石川県防災総合訓練

7 月

- 7月 1日 セラピー講座
(卯辰山)
- 7月17日 月例夜間訓練
(辰口町岩内地内)
- 7月25日 平地搜索訓練
(パーク獅子吼)

8 月

- 8月21日
- 22日 夏季合宿訓練
(スカイ獅子吼)

9 月

- 9月12日 月例訓練
(辰口町)
- 9月16日
- 17日 2004災害救助犬競技大会
(福島県西白河郡西郷村地内)
- 9月23日 動物ふれあいフェア
(辰口町)
- 9月30日 セラピー部門 AAT訪問
(やすらぎホーム)

10 月

- 10月 3日 月例訓練 1
(辰口町岩内地内)
- 10月10日 月例訓練2
(辰口町岩内地内)
- 10月16日 自衛隊との合同訓練
(津幡簡易グラウンド)
- 10月17日 石川県防災総合訓練
(津幡簡易グラウンド)
- 10月29日 セラピー部門 AAT訪問
(金沢南ケアハウス)

11 月

- 11月 2日 創立記念日講演
(金沢市西南部中学校)
- 11月 3日 訓練競技会
- 11月 5日 基調講演
(金沢ボランティア太学校)
- 11月 7日 セラピー部門 AAT訪問
(大門園)
- 11月 9日 セラピー部門 AAT訪問
(やすらぎホーム)
- 11月14日 月例訓練
- 11月20日 レスキューデモンストレーション
(さくら保育園)
- 11月22日 セラピー部門 AAT訪問
(金沢南ケアハウス)

12 月

- 12月17日 月例訓練
(四十万北地内)
- 12月17日 セラピー部門 AAT訪問
(南ケアハウス)



レスキューデモンストレーション



金沢市消防本部合同雪崩遭難雪中搜索訓練

平成 17 年

1 月

- 1月11日 セラピー部門 AAT訪問
(やすらぎホーム)
- 1月16日 月例訓練
(辰口町訓練場)
- 1月19日 金沢市消防本部合同雪崩遭難雪中搜索訓練
(匡王山スポーツセンター)

2 月

- 2月11日 セラピー部門 AAT訪問
(南ケアハウス)
- 2月13日 月例訓練
(金沢北四十万訓練場)

3 月

- 3月 7日 セラピー部門 AAT訪問
(南ケアハウス)
- 3月13日 月例訓練
(金沢北四十万訓練場)
- 3月20日 レスキューデモンストレーション
(富山天天クラブ)
- 3月21日 ST西日本訓練競技会
- 3月24日 JKC災害救助犬認定試験 (四国ブロック)
(京都府丹波)
- 3月29日 平成16年度 (第8回) 石川県災害救助犬審査会
(石川県消防学校)

アニマルセラピーに参加して

山本 みどり

アニマルセラピーの活動に参加させていただき、早1年が経ちます。と言いながらあまり参加していないのですが・・・何も理解らずにただ興味があるからというだけで参加させてもらい、協会の方々に迷惑をかけながらも犬と共にひとつずつ学ばせてもらっています。

初めて老人福祉施設「やすらぎホーム」を訪問した時は犬よりも私自身が緊張していたようです。途中で少し犬を休ませて集中力を取り戻そうと休憩した時には犬に自分自身が癒されていることに気づきました。

不慣れながらにお年寄りと接していると、回数が増す度に変化がはっきり分かりました。

最初は知らん振りしていた方が、2回目では犬を見つめるようになり、その次では自分から手を伸ばし犬に触れようとしていました。そんな行動の変化にはとても驚きました。

言葉を話せない犬が色々な人に与える「動物介在活動」の力には感動を覚えました。

これから先、もっとこのアニマルセラピーに対しての理解と協力を世の中から沢山もらえるよう心より願っています。そしてもっと協力できるように頑張っていきたいと思います。

犬馬鹿夫婦

高井ひとみ

「犬馬鹿夫婦」・・・の始まりは私達が結婚する前からでした。

結婚資金がかかる事は分かっていたにも拘らず、それとこれは別・・・と、フィアンセだった主人に電話ひとつで犬（チャウチャウ犬）を飼うことを報告され、唖然としました。当時24万円もしたのでから・・・

アパート暮らしだった彼は、アパートの自室で飼い始めたのです、無論、金銭的にも、飼育に関しても厄介な事になるはず。普通なら大反対、中傷を浴びせるはずが、私は、何も言わず彼のわがままに付き合いました、そしてそんな自分が天性の犬好き・・・と言う事を再確認したのです。

月日が経ち、結婚20年を迎える今、あの時のチャウチャウ犬は天の橋を渡り、私達を見守ってくれているでしょう。代わりに現在クッキーとシャドウ（ラブラドル・レトリバー）の2匹と暮らし、我娘達よりも手を掛け愛情をかけている姿を見て「犬馬鹿夫婦」と近所の方たちにも評判の私達です。犬達の事が無ければ、とくに空気の存在の我々夫婦ですが、彼等のお陰で共通の会話があり、悩みがあり、笑いがあり、一緒に外出して汗流し訓練に没頭できるのです。世間一般にペットは、「癒しになる」と言いますが、彼等是我々夫婦の「絆」になってくれているです。

先住犬のクッキーを飼い始めたきっかけは、以前チャウチャウ犬を突然飼った時に似て、主人の希望に負けてしまったようなものでした。（2匹目のシャドウは私の希望でしたが・・・）

大型犬を室内で飼う為には、しっかりした躰は必要最小限だと思っていました。彼等が家庭犬として家族と幸せに暮らせる為に、家族一致で躰の本を読みあさり、厳しく教え、どこの子達より、お利巧さんに・・・と、願いながら躰付けてきました。現在救助犬育成にチャレンジできたのも、この頃の私達の基本姿勢が役に立っていると自負しています。訓練用の道具（搜索の箱、ハードル）を自分で作る夫、トンネルや不安定足場を造ってしまう私、「犬馬鹿夫婦」丸出しだなあ～と思いながらシーソーまで造ってしまいました。

吠えない彼等を吠えさせる事から始まり、家の周りでかくれんぼをして搜索訓練、近所の子に声を掛けて箱に隠れて貰ったりと私達なりに自主訓練をしました。

「高井さん夫婦っていったい何やってるんだろう??」と、ご近所の噂になっていたことでしょう。

去年はクッキーが、今年はシャドウが石川県の災害救助犬嘱託犬に認定されました。経験豊富な方々にご指導頂き、もっとスキルアップ出来る様にこれからも彼等と頑張っていきたいと思っている我々「犬馬鹿夫婦」ですので松平会長はじめ協会の皆様、今後共宜しくお願い致します。

このまま歳を重ね老夫婦になっても、ラブラドル達に囲まれて二人で散歩しているのかも・・・腰を曲げながら訓練してるのかな？・・・と想像すると笑えますね。





レスキュー・シューズ

災害救助犬よ育て！

災害救助犬の育成は、災害発生時に、被災者の生命・財産を救助するため、極めて重要な役割を果たす。その育成には、適切な訓練と、飼い主の理解と協力が必要である。本県では、災害救助犬の育成に力を入れ、多くの犬が、災害現場で活躍している。

飼い主頼みの現状 「行政支援を」切実

災害救助犬の育成には、飼い主の理解と協力が不可欠である。しかし、現状では、飼い主の負担が重く、行政からの支援が切実である。行政は、災害救助犬の育成に力を入れ、飼い主の負担を軽減し、多くの犬が、災害現場で活躍できるように努めるべきである。



助かった！

「被災者救助犬」災害救助犬の育成は、被災者の生命・財産を救助するため、極めて重要な役割を果たす。その育成には、適切な訓練と、飼い主の理解と協力が必要である。本県では、災害救助犬の育成に力を入れ、多くの犬が、災害現場で活躍している。

ひとつ飛び

災害救助犬の育成は、被災者の生命・財産を救助するため、極めて重要な役割を果たす。その育成には、適切な訓練と、飼い主の理解と協力が必要である。本県では、災害救助犬の育成に力を入れ、多くの犬が、災害現場で活躍している。



「待て！」の合図で座る犬

整列

雪山訓練



2005年2月28日 北陸中日新聞 掲載

(11) 2005年1月

日本セラピードッグ

No.7 【セラピー活動】

私達の取り組み

NPO法人 石川県救助犬協会連合会

会長 松平 博之

災害救助犬や老人福祉施設、障害者施設の方々のために、おおよび犯罪現場のある人の更なる安全確保など、様々な場面で、その役割を担うために、動物の能力を借りて、災害・事故現場の捜索や、被災者の救助、更生活動を行っています。現在、当協会では、災害救助犬の育成に力を入れ、多くの犬が、災害現場で活躍している。その育成には、適切な訓練と、飼い主の理解と協力が必要である。本県では、災害救助犬の育成に力を入れ、多くの犬が、災害現場で活躍している。

災害救助犬の育成には、飼い主の理解と協力が不可欠である。しかし、現状では、飼い主の負担が重く、行政からの支援が切実である。行政は、災害救助犬の育成に力を入れ、飼い主の負担を軽減し、多くの犬が、災害現場で活躍できるように努めるべきである。

災害救助犬の育成には、飼い主の理解と協力が不可欠である。しかし、現状では、飼い主の負担が重く、行政からの支援が切実である。行政は、災害救助犬の育成に力を入れ、飼い主の負担を軽減し、多くの犬が、災害現場で活躍できるように努めるべきである。



2005年1月 日本セラピードッグ 掲載

石川県救助犬協会連合会

「行け。止まれ」

記者の指示にも的確な行動を見せた
ボルドー。シーソーのような危険な用
具も容易に駆け抜けることができる

★

★

遊び通し動作習得



記者が行く 見る 挑む

災害救助犬育成

金沢市四十万町にある同連合会の訓練施設。中程約3500平方メートルを借り受け、訓練に必要な道具やトンネルなどは、会員らが木材や鉄鋼などを寄せ集めて手作りしたものだ。

訓練の相棒は、同市の飲食業、西村外茂次さん(55)が飼っているラサードー。訓練の相棒は、同市の飲食業、西村外茂次さん(55)が飼っているラサードー。訓練の相棒は、同市の飲食業、西村外茂次さん(55)が飼っているラサードー。

「犬は左側にね」。西村さんの指導を受け、自分の左太もろをたたくと、ボルドーが寄り添ってきた。外で遊ぶ楽しさなの、初対面の相手だからなのか、落ち着かない様子だったが、まもなく高さ約1メートル、長さ約1メートルの橋に挑戦。「上れ」。合図でボルドーが傾斜した細い板を駆け上がった。

その後も、障害物を飛び越えたり、はしごを金網が難関と難

ル大「ボルドー」(雄6歳)。県内でただ1頭、救助犬育成に取り組む社団法人「ジャパンケネルクラブ」(東京都)から災害救助犬の認定を受けている名犬だ。

こうした訓練は、犬にとって「遊び感覚」。だが、高所に慣れる、障害物を飛び越え、がれきの上を歩く――といった被災地で求められる一連の動作の習得に自然とつながる。西村さんは、一遊びを通じて身に着いたことが被災地で生きる、災害がない方がいいに決まっているが、訓練による備えが大切」と話す。

津波や地震、がけ崩れなどで倒壊した家屋や土砂の中から人を探し出し、命を救う災害救助犬。日本では、阪神・淡路大震災を契機に、90年代から民間主導で育成が進められ、新潟県中越地震やインドネシア・スマトラ沖地震の津波など相次ぐ自然災害で、その存在が改めてクローズアップされている。本県で救助犬の育成に取り組むNPO法人「県救助犬協会連合会」を訪れ、訓練の現場をのぞいてみた。(志磨 力)



レスキューシューズ

救助犬の足を保護する用具を装着する。違和感なく慣れさせることも訓練の一つだ



石川県救助犬協会連合会

※ 認定犬 ※



犬 名	生年月日	犬 種	性別	取得資格	指導手	所有者
ディリー オブ トーキョー シゲル JP CDX	1999. 1.14	ラブラドル レトリバー	♂	JKC災害救助犬認定犬 石川県囑託災害救助認定犬	西村 外茂次	西村 外茂次
ブラックスター オブ ワイルド アット ハート JP	2001 .4.23	ラブラドル レトリバー	♂	石川県囑託災害救助認定犬	高井 良治	高井 良治
ピンゴ オブ ヨコスカ コバヤシ JP	2003. 1.11	ラブラドル レトリバー	♂	石川県囑託災害救助認定犬	西村 外茂次	西村 外茂次
ニコラ オブ S ウィスタリア	2000.10.20	ジャーマン シェパード	♂	石川県囑託災害救助認定犬	村田 健太郎	村田 健太郎
アンドロメダ オブ ジャイアントジェイ JP	2000. 1. 5	ジャイアント シュナウザー	♀	石川県囑託災害救助認定犬	諸江 瑤子	諸江 瑤子
アンドリュース オブ ウィンド フェアリー	2002. 6. 8	ラブラドル レトリバー	♂	石川県囑託災害救助認定犬	亀田 行宣	亀田 行宣
シャウケ フォン プラタナス	2000. 8. 1	ジャーマン シェパード	♂	石川県囑託災害救助認定犬	南 利樹	石上 宏和
フレア フォム アイゼンバッハ シュロス	1995. 7.15	ジャーマン シェパード	♀	石川県囑託災害救助認定犬	亀田 行宣	亀田 行宣
ミニアル ダンサーズ ジェネラルスター	2001. 3.19	コリー	♀	石川県囑託災害救助認定犬	小山 靖子	小山 靖子
ベルント オブ トップ アッコハウス	1994. 1.17	ジャーマン シェパード	♂	石川県警察囑託警察犬	細川 雅人	細川 雅人
ビーネ フォン シュテル ヴィンター	1998. 9. 6	ジャーマン シェパード	♀	石川県警察囑託警察犬	細川 雅人	細川 雅人
バランサー オブ ミハルユキ	2000. 4.28	ラブラドル レトリバー	♂	石川県警察囑託警察犬	諸江 瑤子	蔵屋 憲一郎
アンディー フォン シンシュウタケイソウ	1994.10. 4	ジャーマン シェパード	♂	石川県警察囑託警察犬	諸江 瑤子	松本 恵
エック フォム ハウスソトワ		ジャーマン シェパード	♂	石川県警察囑託警察犬	諸江 瑤子	釜田 洋光
コティ フォム グロースヴァルテン	1992.10.27	ジャーマン シェパード	♀	石川県警察永久囑託警察犬	佐々木 秀之	佐々木 秀之
アラン フォンデア ナハトムズィーク		ジャーマン シェパード	♂	石川県警察囑託警察犬	佐藤 政信	若林 勉
ヨーゼフ オブ イーストマウンテン		ジャーマン シェパード	♂	石川県警察囑託警察犬	藤井 亮	藤井 亮
Dream of Arabian Nights	1995. 5. 7	ジャーマン シェパード	♀	日本訓練ジージャーゲリン	島田 馨	北川 正
APPLE BLOSSOM OF TOYA MATSUI JP T.CH	2000. 5.10	ラブラドル レトリバー	♀	セラピードッグ認定犬	高島 垂矢子	松井 幸子
ANASTASIA OF RUN & RUN JP	2001. 3.26	パピヨン	♀	セラピードッグ認定犬	高島 垂矢子	土屋 紀子
ADVENTURE OF DOG HOUSE YAMANE JP	2000.10.27	ミニチュア シュナウザー	♂	セラピードッグ仮認定犬	山本 みどり	山本 みどり
パンラム オブ ノンノンドリーム JP	1997. 6.25	ラブラドル レトリバー	♂	セラピードッグ仮認定犬	大蔵 信之	大蔵 信之
AMALTHEE OF MIYAMOTOGARDEN JP	1997.12.25	オーストラリアン シェパード	♀	セラピードッグ仮認定犬	能田 尚人	能田 尚人
AMALTHEE OF RIE MAMA JP	2001.12.25	ポメラニアン	♀	セラピードッグ仮認定犬	成田 理恵	成田 理恵
BAB OF HIGH TACK FCI	2003.11.13	チワワ	♀	セラピードッグ仮認定犬	大蔵 信之	大蔵 信之

石川県救助犬協会連合会について

事業内容及び目的

本会は救助犬による搜索、人命救助とその活動に必要な知識、技術の向上を図ることにより社会への奉仕を目的として活動しています。

- ・ 山岳救助犬・災害救助犬の作出・研究
- ・ 救助犬ハンドラーの育成
- ・ 瓦礫や雪崩・土砂等の下に生き埋めとなった不明者搜索
- ・ 限定された地域に特定できる場合の犯罪者の逃走・潜伏場所の搜索
- ・ 救助犬の必要性についてのPR活動
- ・ 救助活動、救助犬作出、研究に関する関係各庁と関係団体との連絡協調
- ・ その他本会の目的を達成する為に必要な事業
- ・ セラピードッグの育成と指導手の育成
- ・ 種々の状況に対応できる救助犬の作出、研究
- ・ 山中、原野などで迷ったりしたハイカー、キャンパー、子供、認知症老人搜索
- ・ あらゆる現場で負傷等により動けなくなった人の搜索
- ・ 当協会へのボランティア活動者の募集
- ・ 学校、施設等の実演講演会
- ・ 国内外における救助犬協会及びそれに類する団体との交流

協会人数 59 家族 98 名（平成 17 年 3 月末現在）
当協会が加入している団体
（社会福祉法人）金沢市・石川県・全国社会福祉協議会
いしかわ災害ボランティアネットワーク
海守（一部会員）


Ishikawa Rescue Dogs Association

賛助会員募集

当協会の活動は全て会員の無償のボランティアで成り立っています。
一頭でも多く、楽しく働く犬たちを社会に貢献させるために
皆さんからの、募金によるご協力をお願いいたします。

郵便振替口座
振替先 石川県救助犬協会連合会
口座番号 00710-8-55848
年会費 ￥3,000（1年間）
（通信欄に賛助会員とお書き添えください）

特定非営利活動法人 石川県救助犬協会連合会
<http://www.sfdata.ne.jp/IRD/>